

8月の消防広報重点事項

発行 令和3年7月13日
盛岡市危機管理防災課
編集 盛岡中央消防署

火遊び・花火による火災の防止

○火遊びによる火災を防ぎましょう！

子供の火遊びによる火災は、大人がいないときに発生することが多く、火災の発見が遅れるなどして火災が拡大する場合があります。

子供の火遊びによる火災をなくすためにも、大人が子供たちに対して火災の恐ろしさや正しい火の取扱い方法を教える必要があります。

子供の火遊びによる火災防止のポイント

- ① 子供だけを残して外出しない。
- ②ライターやマッチを子供の手の届くところに置かない。
- ③ 子供だけで火を取り扱わせない。
- ④ 火遊びをしているのを見かけたら注意する。
- ⑤ 火災の恐ろしさ・火の取扱いについて教育する。

○花火は楽しく安全に遊びましょう！

夏の風物詩である「花火」は、取扱いを誤ると火事ややけどなどの大きな事故につながります。事故が起こらないよう十分注意し、夏の楽しい思い出にしましょう。

花火を安全に遊ぶポイント

- ① 風の強いときは花火をしない。
- ② 近くに燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ。
- ③ 子供だけでなく大人と一緒に遊ぶ。
- ④ 説明書をよく読み、注意事項を必ず守る。
- ⑤ 水バケツを用意し、使った花火は必ず水につける。

水難事故に注意しましょう！

○水難事故の約半数は死亡事故に！

夏は海や川などでレジャーを楽しむ機会が増える季節です。自然に触れるレジャーは楽しみがある半面、自然ならではの危険が潜んでいます。

水難事故は、命にかかわる重大な事故になる可能性が非常に高く、特に河川での水遊びによる子供の事故が多く発生しています。

事故を防ぐため、自然を甘く見ず、危険を認識し、計画を立てて行動するようにしましょう。

海や川の事故を防ぐポイント

- ① 海水浴の際は、危険な場所を確認し、その場所に近づかない。
- ② 健康状態が悪いときや、お酒を飲んだときは泳がない。
- ③ 悪天候のときは海に出ない。
- ④ 子供だけでは遊ばせない。
- ⑤ 釣りのときやボートに乗るときはライフジャケットを着用する。
- ⑥ 出掛ける前に天気や川の情報を確認する。
- ⑦ 危険を示す掲示板、水流が速い・深みがあるところは避ける。
- ⑧ 河原や中洲、川幅の狭いところに注意する。
- ⑨ 天気や川の変化に注意する。

盛岡市内の1月から6月までの火災件数

	令和3年	令和2年	比較増減
火災件数	33件	15件	18件増
死者数	4人	2人	2人増

令和3年6月中の火災6件の内訳

- | | | |
|-------|---------|--------------------------|
| 6月 4日 | 下飯岡2地割 | 住宅兼農業用倉庫1棟ぼや |
| 6月 7日 | 高松四丁目 | 共同住宅1棟ぼや |
| 6月 8日 | 津志田13地割 | 住宅1棟全焼、住宅3棟半焼、
車庫1棟半焼 |
| 6月10日 | 上田堤二丁目 | 住宅1棟全焼 負傷者1名 |
| 6月11日 | 玉山馬場字前田 | 小型特殊自動車1台焼損 |
| 6月27日 | 東新庄一丁目 | 普通乗用自動車1台焼損 |